

ITER閣僚級会合に向けた第2回準備会合の共同宣言（仮訳）
（2004年2月21日、IAEAウィーン）

中国、EU、日本、韓国、ロシア、米国の代表団は、2004年2月21日にウィーンのIAEA本部においてITERに関する交渉を進展させるための会合を持った。

代表団は、2003年12月20日に開催された閣僚級会合の後、集中的な作業が行われたことを認めた。

代表団は、いくつかの主要なトピックスの共通な項目について議論を深め、技術的な解析を終了させるためにエキスパート・ミーティングを3月始めに開催することで同意した。

ITER参加国は、核融合研究の幅広い計画の進め方のさらなる調査を含めた議論を継続していく。

全代表団は、ITERの共同実施に向けて責任を持って合意形成をはかっていくことを再度確認した。